

図書館システム要求仕様書構成案

平成 13 年 9 月 20 日

平成 13 年度総合目録データベース実務研修
(システム担当者コース) C 班

はじめに

本案は、平成 12 年度と同研修において作成された仕様書構成案をベースとし、他大学の仕様書やメンバーの経験をもとに作成したものです。

今回の修正にあたっては、以下の点に留意しました。

- (1) 標準的かつ汎用的な仕様書作成をめざし、特殊と思われる機能を割愛した。
- (2) 内容や表現がかなり具体的なものについては、簡潔な表現に書き改めた。
- (3) 技術審査を念頭におき、不適切な内容や表現を書き改めた。
- (4) 文部科学省の指導する記述法を念頭におき、公正かつ正確に表現するよう心がけた。
- (5) 各大学の事情により、導入の有無がわかる可能性がある機能については、「必要に応じて」などの表現を使用した。

したがって、本案を参考に仕様書を作成する際は、各機能の詳細を各大学の事情より記述してください。なお、あわせて他大学の仕様書を参考にされることをお勧めします。

平成 13 年度総合目録データベース実務研修（システム担当者コース）

C 班	佐賀大学 附属図書館	福島 正徳
	津田塾大学 図書館	村田 安代
	東北大学 附属図書館	照内 弘通

目 次

I 仕様書概要説明

- 1 調達の背景および目的
- 2 調達内容
 - (1) 調達物品名および構成内容
 - (2) 納入場所
 - (3) 技術的要件の概要
 - (4) その他

II 調達物品に備えるべき技術的要件

(性能・機能に関する要件)

- 1 図書館業務支援システム
- 2 情報サービスシステム
- 3 端末等
 - 3.1 図書館業務支援
 - 3.1.1 アプリケーションサーバ
 - 3.1.2 業務処理用装置
 - 3.1.3 利用者用装置
- 4 図書館業務支援アプリケーション
 - 4.1 包括的要件
 - 4.2 図書受入
 - 4.3 目録
 - 4.4 雑誌管理
 - 4.5 閲覧
 - 4.6 ILL
 - 4.7 参考調査

- 5 情報サービスアプリケーション
 - 5.1 蔵書検索サービス
 - 5.2 WWW による利用者サービス機能
 - 5.3 WWW による業務支援機能

- 6 ネットワークの接続と利用形態

- 7 システム管理・運用

- 8 現有データ等の移行

(性能・機能以外の要件)

- 1 保守支援体制等

- 2 その他

III 資料

I 仕様書概要説明

1 調達背景および目的

各大学の事情により具体的に記述する。

過去の調達において実現してきた内容やその時代背景、および今回の調達の目的などを記述する。

2 調達内容

(1) 調達物品名および構成内容

図書館情報処理システム 一式

搬入、据付け、配線、調整、保守等を含む

(性能・機能に関する要件)

(内訳)

1 図書館業務支援システム

1.1 サーバワークステーション 式

1.1.1 ハードウェア

1.1.2 ソフトウェア

1.1.2.1 基本ソフトウェア

1.1.2.2 データベース管理

1.1.2.3 その他

1.2 補助記憶装置 式

1.3 バックアップ装置 式

1.4 無停電電源装置 式

2 情報サービスシステム

「図書館業務支援システム」と「情報サービスシステム」のサーバを分けるか否かは各大学の事情により判断する。

2.1 サーバワークステーション 式

2.1.1 ハードウェア

2.1.2 ソフトウェア

2.1.2.1 基本ソフトウェア

2.1.2.2 データベース管理

2.1.2.3 その他

2.2 補助記憶装置 式

2.3 バックアップ装置 式

2.4 無停電電源装置 式

3 端末等

3.1 図書館業務支援

3.1.1 アプリケーションサーバ

アプリケーションサーバの必要性については、各大学の事情により判断する。

3.1.1.1 サーバワークステーション 式

3.1.1.1.1 ハードウェア

3.1.1.1.2 ソフトウェア

3.1.2 業務処理用装置

3.1.2.1 業務用クライアント 式

3.1.2.1.1 ハードウェア

3.1.2.1.2 ソフトウェア

3.1.2.2 プリンタ装置 式

3.1.2.3 OCR ハンドスキャナ装置及びバーコードリーダー装置 式

3.1.2.4 その他の装置

3.1.3 利用者用装置

3.1.3.1 利用者用クライアント 式

3.1.3.1.1 ハードウェア

3.1.3.1.2 ソフトウェア

4 図書館業務支援アプリケーション

4.1 包括的要件

4.1.1 基本要件

4.1.2 操作性

4.1.3 コード類

4.1.4 帳票・統計

4.2 図書受入

4.2.1 包括的要件

4.2.2 WWW 経由の購入依頼処理

4.2.3 選定

4.2.4 発注

4.2.5 受入・登録

4.2.6 支払・会計情報管理

4.2.7 メンテナンス

4.2.8 統計

- 4.3 目録
 - 4.3.1 包括的要件
 - 4.3.1.1 基本要件
 - 4.3.1.2 登録・メンテナンス
 - 4.3.2 図書目録
 - 4.3.2.1 基本要件
 - 4.3.2.2 登録・メンテナンス
 - 4.3.2.3 統計
 - 4.3.2.4 その他
 - 4.3.3 雑誌目録
 - 4.3.3.1 基本要件
 - 4.3.3.2 登録・メンテナンス
 - 4.3.3.3 その他
 - 4.3.4 統計
- 4.4 雑誌管理
 - 4.4.1 包括的要件
 - 4.4.2 予約・契約
 - 4.4.3 外国雑誌前金払処理
 - 4.4.4 検収・受入
 - 4.4.5 会計情報管理
 - 4.4.6 製本・登録
 - 4.4.7 統計
- 4.5 閲覧
 - 4.5.1 包括的要件
 - 4.5.2 条件設定・メンテナンス
 - 4.5.3 貸出・返却
 - 4.5.4 予約
 - 4.5.5 WWW 経由の予約処理
 - 4.5.6 問い合わせ
 - 4.5.7 督促
 - 4.5.8 資料管理
 - 4.5.9 利用者管理
 - 4.5.10 統計
- 4.6 ILL
 - 4.6.1 包括的要件
 - 4.6.2 依頼・受付
 - 4.6.3 WWW 経由の依頼・受付・通知処理

- 4.6.4 ファイル検索・メンテナンス
- 4.6.5 会計・帳票
- 4.6.6 統計
- 4.7 参考調査
 - 4.7.1 レファレンス業務

- 5 情報サービスアプリケーション
 - 5.1 蔵書検索サービス
 - 5.2 WWWによる利用者サービス機能
 - 5.2.1 包括的要件
 - 5.2.2 図書購入依頼支援
 - 5.2.3 貸出・予約支援
 - 5.2.4 ILL サービス支援
 - 5.2.5 利用案内サービス支援
 - 5.3 WWWによる業務支援機能
 - 5.3.1 レファレンス支援

6 ネットワークの接続と利用形態

7 システム管理・運用

8 現有データ等の移行

(性能・機能以外の要件)

- 1 保守支援体制等
- 2 その他

(2) 納入場所

(具体的納入場所の記述)

(3) 技術的要件の概要

- 1) 本件調達物品に係わる性能、機能及び技術等(以下「性能等」という)の要求要件(以下「技術的要件」という)は、 に示すとおりである。
- 2) 技術的要件は全て必須の要求要件である。
- 3) 必須の要求要件は本学の必要とする最低限の要求要件を示しており、入札機器の性能等がこれ

らを満たしていないとの判断がなされた場合には不合格となり、落札決定の対象から除外する。

- 4) 入札機器の性能等が技術的要求を満たしているか否かの判断は、入札機器に係わる技術仕様書その他入札説明書で求める提出資料の内容を 大学附属図書館技術審査委員会(以下「技術審査委員会」という)において審査して行う。

(4) その他

1 技術仕様等に関する留意要件

- 1) 入札機器は、原則として入札時点で製品化されていること。
- 2) 入札機器が入札時点で製品化されていない場合は、技術的要件を満たすことの証明および納期に間に合うことの根拠を十分説明できる資料を提出すること。
- 3) 入札に係るソフトウェアが入札時点で製品化されていない場合は、技術的要件を満たすことの証明および納期に間に合うことの根拠を十分説明できる資料を提出すること。
- 4) 技術的要件で、アンダーラインが付されている要件については、技術要件を満たすことのできることを示す実測値またはシミュレーションの方法及び結果を提出のこと。

2 導入に関する留意要件

- 1) システムの稼動時期は 年 月 日とし、また、導入スケジュールについては、本学と協議し、その指示にしたがうこと。

3 提案に関する留意要件

- 1) 提案に関しては、提案システムが本仕様書の要求要件をどのように満たすか、あるいはどのように実現するかを具体的かつ分かり易く資料等を添付して記載すること。従って、本仕様書の技術的要件に対して、「単に“ できます。”、“ 有します。”といった回答の提案は、審査するに当たって提案の根拠が不明確、説明が不十分で技術審査に重大な支障があると、本館技術審査委員会が判断した場合は、要求要件を満たしていないものとみなし、不合格とする。
- 2) 提出資料等に関する照会先を明記すること。
- 3) 提出された内容について技術審査を行う。提案内容について、技術審査委員会が必要と判断した場合には導入済み図書館へ稼動実績について確認調査等を行うことがある。したがって、納入実績がある場合は、実績およびその問い合わせ先一覧をつけること。
- 4) 提出資料等は日本語で 部提出すること。
- 5) 提出された内容について、ヒアリングを行う場合があるので誠実に対応すること。

6) 本件に関するの照会先

(具体的場所を示す)

4 その他の留意要件

- 1) 搬入、据付、配線、調整、既設設備との接続に要するすべての費用は本調達に含まれる。
- 2) 本調達の借入期間中のソフトウェア及びハードウェアの保守費用は本調達に含まれる。
- 3) 解約及び借入期間満了時には、借入物品を撤去すること。なお、撤去に要する全ての費用は本調達に含まれるものとする。

II 調達物品に備えるべき技術的要件

(性能・機能に関する要件)

1 図書館業務支援システム

自館の現在の状況をこの業務支援システムを利用してどのように改善してゆくかを記述する。

1.1 サーバワークステーション(式)

1.1.1 ハードウェア

- (1) 指定条件下での処理能力(応答速度等)について記述する。
- (2) CPU の性能について記述する。
- (3) 主記憶容量について記述する。
- (4) ネットワークインターフェイスについて記述する。
- (5) 必要なデバイス装置(コンソール、マウス等)とその性能について記述する。

1.1.2 ソフトウェア

1.1.2.1 基本ソフトウェア

- (1) オペレーティングシステムについて記述する。
- (2) ネットワークプロトコル及び通信機能について記述する。
- (3) アクセス制御等のセキュリティ機能について記述する。

1.1.2.2 データベース管理

- (1) データベース管理システムの性能及びライセンス数について記述する。
- (2) データベース管理及びデータ入出力について記述する。
- (3) データのバックアップ及びリストア機能について記述する。

1.1.2.3 その他

- (1) 利用できる文字コードについて記述する。(国立情報学研究所「多言語対応目録システム」を利用する場合は、UCS文字セットに対応していること)
- (2) プログラム言語及び開発ツールについて記述する。
- (3) 停電等の障害時における対応機能について記述する。

1.2 補助記憶装置(式)

- (1) 磁気ディスク装置のアンフォーマット時の容量及び性能について記述する。

1.3 バックアップ装置(式)

- (1) 装置の種類、規格および容量について記述する。
- (2) バックアップの方法等について記述する。

1.4 無停電電源装置(式)

- (1) 停電時の稼働能力について記述する。

(2) 電源障害時にサーバへの通知機能について記述する。

2 情報サービスシステム

自館の現在の状況をこの情報サービスシステムを利用してどのように改善してゆくかを記述する。

2.1 サーバワークステーション(式)

2.1.1 ハードウェア

- (1) 指定条件下での処理能力(応答速度等)について記述する。
- (2) CPU の性能について記述する。
- (3) 主記憶容量について記述する。
- (4) ネットワークインターフェイスについて記述する。
- (5) 必要なデバイス装置(コンソール、マウス等)とその性能について記述する。

2.1.2 ソフトウェア

2.1.2.1 基本ソフトウェア

- (1) オペレーティングシステムについて記述する。
- (2) ネットワークプロトコル及び通信機能について記述する。
- (3) アクセス制御等のセキュリティ機能について記述する。

2.1.2.2 データベース管理

- (1) データベース管理システムの性能及びライセンス数について記述する。
- (2) データベース管理及びデータ入出力について記述する。
- (3) データのバックアップ及びリストア機能について記述する。

2.1.2.3 その他

- (1) 利用できる文字コードについて記述する。(国立情報学研究所「多言語対応目録システム」を利用する場合は、UCS文字セットに対応していること)
- (2) Z39.50 に対応する場合は、その旨記述する。
- (3) プログラム言語及び開発ツールについて記述する。
- (4) 停電等の障害時における対応機能について記述する。

2.2 補助記憶装置(式)

- (1) 磁気ディスク装置のアンフォーマット時の容量及び性能について記述する。

2.3 バックアップ装置(式)

- (1) 装置の種類、規格および容量について記述する。
- (2) バックアップの方法等について記述する。

2.4 無停電電源装置(式)

- (1) 停電時の稼働能力について記述する。
- (2) 電源障害時にサーバへの通知機能について記述する。

3 端末等

3.1 図書館業務支援

3.1.1 アプリケーションサーバ

3.1.1.1 サーバワークステーション(式)

3.1.1.1.1 ハードウェア

- (1) CPU の性能について記述する。
- (2) 主記憶容量について記述する。
- (3) 補助記憶容量について記述する。
- (4) ネットワークインターフェイスについて記述する。
- (5) 必要なデバイス装置(コンソール、マウス等)とその性能について記述する。

3.1.1.1.2 ソフトウェア

- (1) オペレーティングシステムについて記述する。
- (2) ネットワークプロトコル及び通信機能について記述する。
- (3) アクセス制御等のセキュリティ機能について記述する。
- (4) 利用できる文字コードについて記述する。(国立情報学研究所「多言語対応目録システム」を利用する場合は、UCS文字セットに対応していること)

3.1.2 業務処理用装置

3.1.2.1 業務用クライアント(式)

3.1.2.1.1 ハードウェア

- (1) CPU の性能について記述する。
- (2) 主記憶容量について記述する。
- (3) 補助記憶容量について記述する。
- (4) ネットワークインターフェイスについて記述する。
- (5) 必要なデバイス装置(ディスプレイ、キーボード、マウス等)とその性能について記述する。

3.1.2.1.2 ソフトウェア

- (1) オペレーティングシステムについて記述する。
- (2) 利用できる文字コードについて記述する。(国立情報学研究所「多言語対応目録システム」を利用する場合は、UCS文字セットに対応していること)
- (3) 1.1.2.2 のデータベース管理システムからデータを抽出するためのユーティリティソフトについて記述する。
- (4) その他搭載すべきソフトウェアについて記述する。(ワープロ、表計算、ブラウザ・メール等)

3.1.2.2 プリンタ装置(式)

- (1) プリンタの性能(印字速度・解像度・印字可能フォント・用紙サイズ等)について記述する。(国立情報学研究所「多言語対応目録システム」を利用する場合は、UCS文字セットを印字できる旨明記する。)
- (2) ネットワークインターフェイスについて記述する。

- (3) バーコードや OCR フォント等の印刷に対応していることを明記する。
- 3.1.2.3 OCR ハンドスキャナ装置およびバーコードリーダー装置(式)
 - (1) 認識できる OCR 規格及びバーコード規格について記述する。
 - (2) 業務用クライアントとの接続方法について記述する。
- 3.1.2.4 その他の装置
 - (1) 蔵書点検用装置、磁気カードリーダー装置等必要な装置について規格・性能等を記述する。
- 3.1.3 利用者用装置
 - 3.1.3.1 利用者用クライアント(式)
 - 3.1.3.1.1 ハードウェア
 - (1) CPU の性能について記述する。
 - (2) 主記憶容量について記述する。
 - (3) 補助記憶容量について記述する。
 - (4) ネットワークインターフェイスについて記述する。
 - (5) 必要なデバイス装置(ディスプレイ、キーボード、マウス等) とその性能について記述する。
 - 3.1.3.1.2 ソフトウェア
 - (1) オペレーティングシステムについて記述する。
 - (2) 利用できる文字コードについて記述する。(国立情報学研究所「多言語対応目録システム」を利用する場合は、UCS 文字セットに対応していること)
 - (3) その他搭載すべきソフトウェアについて記述する。(ワープロ、表計算、ブラウザ・メール等)
 - (4) 初期設定環境を復元できるソフトについて記述する。
 - (5) 利用者の不正利用を防止できるソフトウェアについて記述する。

4 図書館業務支援アプリケーション

自館の現在の状況をこのアプリケーションを利用してどのように改善していくかを記述する。

4.1 包括的要件

4.1.1 基本要件

- (2) 動作環境・画面環境等の条件を記述する。
- (3) 利用できる文字コードについて記述する。(国立情報学研究所「多言語対応目録システム」を利用する場合は、UCS 文字セットに対応していること)
- (4) 利用制限機能等について記述する。
- (5) 国立情報学研究所の NACSIS-CAT2、NACSIS-ILL2 が利用できる旨記述する。
- (6) データ間の整合性等について記述する。
- (7) データを条件指定により、テキストファイルとして抽出する機能について記述する。
- (8) テキストファイルのデータをデータベースにインポートする機能について記述する。
- (9) その他各業務で共通した機能等について記述する。

4.1.2 操作性

- (1) コピー&ペースト機能・ショートカットキー等についての条件を記述する。

4.1.3 コード類

(1) 各種コードの管理（登録・修正・削除等）および拡張性について記述する。

4.1.4 帳票・統計

(1) 各業務に渡る定型の統計処理がある場合は記述する。

4.2 図書受入

・図書受入システムの概要を説明する。

4.2.1 包括的要件

(1) レコードの処理段階を管理する機能について記述する。

(2) 書誌情報はオリジナル作成および国立情報学研究所の NACSIS-CAT2 等を利用した流用作成ができる旨記述する。

(3) 所蔵重複調査をする機能について記述する。

(4) レコードの新規登録時に整理番号が自動付与される機能について記述する。

(5) 外部作成のデータを取り込み、各処理段階のレコードを一括作成できる機能について記述する。

(6) 継続図書の管理機能について記述する。

(7) 各レコードの処理に応じて、金額が予算マスタファイルに即時に反映できる機能について記述する。

(8) レコードの保持期間について記述する。

4.2.2 WWW 経由の購入依頼処理

(1) WWW 経由の購入請求(以下、リモート依頼)の受信状況が、あらかじめ指定した業務クライアントに定期的に自動通知される機能について記述する。

(2) 請求者に処理状況を自動的に通知する機能について記述する。

(3) 学内所蔵重複調査ができる機能について記述する。

(4) リモート依頼レコードを修正・削除する機能について記述する。

(5) リモート依頼レコードから一括して、選定および発注の各処理ができる機能について記述する。

4.2.3 選定

(1) 選定段階のレコードを、一括して発注処理できる機能について記述する。

4.2.4 発注

(1) 選定処理を経ずに発注レコードを作成できる機能について記述する。

(2) 発注段階のレコードをもとに、発注票を出力できる機能について記述する。

(3) 発注段階のレコードをもとに、未納図書リストを出力する機能について記述する。

4.2.5 受入・登録

(1) 選定・発注処理を経ずに受入レコードを作成する機能について記述する。

(2) 定価から購入金額を自動算出できる機能について記述する。

(3) 値引率・通貨別円換算率・消費税率を詳細に設定する機能について記述する。

(4) セットものについて、1件の発注段階レコードから、複数の受入段階レコードを作成できる機能について記述する。

- (5) 受入段階レコードを1件ずつまたは複数、検収処理する機能について記述する。
- (6) 受入段階レコードに資料番号を自動付与する機能について記述する。
- (7) 検収済状態のレコードを検収前状態に戻す機能について記述する。
- (8) 資料番号ラベルを出力する機能について記述する。
- (9) 受入段階レコードの書誌情報、所蔵情報、会計情報を目録業務システムに引き継ぐ機能について記述する。

4.2.6 支払・会計情報管理

- (1) 受入段階レコードに対し、支払保留・支払保留解除ができる機能について記述する。
- (2) 予算コードごとの予算執行状況を、条件を指定して出力できる機能について記述する。
- (3) 支払、登録に必要な帳票を出力できる機能について記述する。

4.2.7 メンテナンス

- (1) すべての処理段階で、レコードを一件ずつまたは一括して、修正・削除できる機能について記述する。
- (2) 条件を指定して必要なデータを抽出し、テキストファイルとして出力できる機能について記述する。

4.2.8 統計

- (1) 各種調査に必要な統計処理ができる機能について記述する。

4.3 目録

- ・目録システムの概要について説明する。

4.3.1 包括的要件

4.3.1.1 基本要件

- (1) 各書誌・所蔵のファイルは、国立情報学研究所の総合目録データベースに準拠した項目、および本学目録データベース構築に必要な項目を備えることを記述する。
- (2) NACSIS-CAT2 に対応することを記述する。
- (3) 国立情報学研究所「多言語対応目録システム」を利用する場合は、本学目録データベースがUCS文字セットに対応することを記述する。
- (3) 国立情報学研究所総合目録データベースおよび本学目録データベースを同一画面で等価的に処理できることを記述する。
- (4) 自動登録ソフトに対応し、かつ、その結果ファイルを学内データベースに反映し、プルーフリストを出力できる機能について記述する。
- (5) JIS 第一水準・第二水準以外の文字を正規化するための機能について記述する。
- (6) 検索語の生成について記述する。国立情報学研究所の漢字統合インデックスを利用する場合はそのことを記述する。
- (7) コードを入力する項目については、そのテーブルを備え、登録・修正・削除ができる機能について記述する。
- (8) 区切り記号を記述文法に従ってチェックする機能について記述する。

4.3.1.2 登録・メンテナンス

- (1) 本学の目録データベースにレコードの登録・修正・削除が可能であり、即時更新ができる機能について記述する。
- (2) 国立情報学研究所および本学の目録データベースに対し、所蔵レコードの付け替えができること。
- (3) 外部作成データを書誌・所蔵ファイルに取り込む機能について記述する。

4.3.2 図書目録

4.3.2.1 基本要件

- (1) 1つのファイルにおいて、集合書誌レコード、単行書誌レコードの階層関係を書誌リンクにより表現できる機能について記述する。
- (2) 典拠コントロール機能が必要な場合は、そのことについて記述する。
- (2) 物理的な図書1冊ごとに対応した所蔵ファイルによって所在管理する機能について記述する。

4.3.2.2 登録・メンテナンス

- (1) 図書受入システムによる処理を経ずに目録登録処理を行える機能について記述する。
- (2) 学内所蔵データ登録の際に、ISBN、資料番号により重複チェックを行う機能について記述する。
- (3) 多巻物の目録作成機能について記述する。

4.3.2.3 統計

- (1) 各種調査に必要な統計処理ができる機能について記述する。

4.3.2.4 その他

- (1) 請求記号ラベル(背ラベル)を、指定により作成する機能について記述する。

4.3.3 雑誌目録

4.3.3.1 基本要件

- (1) 物理的な製本雑誌1冊ごとに対応した製本所蔵ファイルを持ち、所在管理ができる機能について記述する。
- (2) 雑誌管理システムの受付データを編集し、所蔵ファイルに対してオンライン更新ができ、受付・欠号データに対応して、所蔵データを正しく表現できる機能について記述する。

4.3.3.2 登録・メンテナンス

- (1) 製本所蔵ファイルのメンテナンス機能を備えることについて記述する。
- (2) 製本所蔵ファイルのデータを一括して変更する機能について記述する。

4.3.3.3 その他

- (1) 国立情報学研究所に対して、所蔵データを一括して報告する機能について記述する。

4.3.4 統計

- (1) 各種調査に必要な統計処理ができる機能について記述する。

4.4 雑誌管理

- ・雑誌管理システムの概要について説明する。

4.4.1 包括的要件

- (1) 受入データは製本が完了するまで保持し、メンテナンスができ、条件を指定して一括削除ができる機能について記述する。

(2) 契約データ・管理データの保持期間について記述する。

4.4.2 予約・契約

(1) 受入雑誌データ(管理情報、契約情報)を年度単位で管理するための機能について記述する。

(2) 当該年度の受入雑誌データを一括複写して、翌年度の受入雑誌データを作成する機能について記述する。

(3) 契約レコードの登録・修正・コピー入力・削除を行える機能について記述する。

(4) 雑誌名が変更された場合に、新規の書誌レコードに対応する契約レコードを作成でき、受入処理、変更契約処理が行える機能について記述する。

(5) 年度ごとの通貨テーブルにより、契約金額を自動算出する機能について記述する。

(6) 予約発注用のリストを出力する機能を備えること。

(7) オンラインジャーナル、および関連するネットワーク上の情報資源にアクセスするための情報を保持できる機能について記述する。

4.4.3 外国雑誌前金払処理

(1) 契約関係書類を出力できる機能について記述する。

(2) 変更契約時における精算のための帳票を出力する機能について記述する。

(3) 前金払対象雑誌に対する未着分の精算処理を行う機能について記述する。

4.4.4 検収・受入

(1) 未着、欠号レコードを生成できる機能について記述する。

(2) 未着、欠号レコードを、リストおよびファイルに出力する機能について記述する。

(3) 受付済のレコードの修正・削除を行う機能について記述する。

(4) 受入データを所蔵ファイルへ反映させる機能について記述する。

4.4.5 会計情報管理

(1) 後金払対象雑誌の一括支払処理のために、支払内訳書の出力および巻号レコードの処理段階を更新する機能について記述する。

(2) 未払データのチェックリストを、リストおよびファイルに出力する機能について記述する。

4.4.6 製本・登録

(1) 製本対象となる受付データのリストを出力する機能について記述する。

(2) 製本処理を行うために必要なデータの登録・修正・削除を会話形式で行う機能について記述する。

(3) 製本発注用の内訳書を出力する機能について記述する。

(4) 製本済の雑誌について、資料番号の付与および検収日の入力を一括して行う機能について記述する。

4.4.7 統計

(1) 各種調査に必要な統計処理ができる機能について記述する。

4.5 閲覧

・ 閲覧システムの概要について説明する。

4.5.1 包括的要件

- (1) 貸出返却処理、予約処理、所在変更処理の結果が、即時に OPAC に反映できる機能について記述する。
 - (2) 利用者の ID 番号の規格について記述する。
- #### 4.5.2 条件設定・メンテナンス
- (1) 開館日・閉館日の指定とカレンダー設定機能について記述する。
 - (2) 貸出条件の設定機能について記述する。
 - (3) 資料の予約の可否、冊数を設定する機能について記述する。
 - (4) 返却期限日の自動設定機能について記述する。
 - (5) 罰則の設定機能について記述する。
 - (6) その他閲覧システムに関わる区分(貸出、身分、在籍)等の設定機能について記述する。
- #### 4.5.3 貸出・返却
- (1) 操作性について記述する。
 - (2) 自動貸出装置との連携機能について記述する。
 - (3) サーバの停止時、学内ネットワークの停止時、障害発生時においても、オフラインで貸出・返却処理ができ、復旧後はデータの整合性をとることができる機能について記述する。
 - (4) 貸出更新処理について記述する。
- #### 4.5.4 予約
- (1) 予約、予約解除、修正、保留機能について記述する。
 - (2) 複本予約機能について記述する。
 - (3) 予約に関する利用者への連絡機能について記述する。
 - (4) 予約情報に関する帳票について記述する。
- #### 4.5.5 WWW 経由の予約処理
- (1) WWW 経由の予約・解除があった場合に、閲覧システム側に即時に知らせる機能を記述する。
- #### 4.5.6 問い合わせ
- (1) 利用者情報、貸出情報、予約情報等の問い合わせについて記述する。
 - (2) 問い合わせ結果の帳票について記述する。
- #### 4.5.7 督促
- (1) 督促状、督促リストについて記述する。
 - (2) 電子メールによる督促機能について記述する。
- #### 4.5.8 資料管理
- (1) 所在変更機能について記述する。
 - (2) 所在変更済資料のリスト出力機能について記述する。
 - (3) 所在不明資料の管理について記述する。
 - (4) 蔵書点検に関する機能について記述する。
- #### 4.5.9 利用者管理
- (1) 利用者データの作成、入手方法について記述する。
 - (2) 利用者データの検索機能について記述する。

(3) 他の業務アプリケーションや入退館管理システムとの連携について記述する。

(4) 利用者データに関するリスト出力について記述する。

4.5.10 統計

(1) 各種調査に必要な統計処理ができる機能について記述する。

4.6 ILL

・ILLシステムの概要について記述する。

4.6.1 包括的要件

(1) 国立情報学研究所のNACSIS-ILL2を利用した依頼・受付ができる旨記述する。

(2) オンラインまたはマニュアルでの受付・依頼ができる旨記述する。

(3) 国際ILLを行う場合は、その機能について記述する。

(4) 画像伝送システムとの連携機能について記述する。

(5) ILLデータの保存期間について記述する。

4.6.2 依頼・受付

(1) 依頼・受付レコードの新規作成・修正・削除・処理段階変更の機能について記述する。

(2) 一括依頼・受付・更新機能について記述する。

(3) 日付、コード値、単価、料金等の自動設定・計算機能について記述する。

(4) 学内の雑誌情報の参照機能について記述する。

(5) 受付・依頼用の帳票出力について記述する。

4.6.3 WWW経由の依頼・受付・通知処理

(1) WWW経由の依頼・受付機能について記述する。

4.6.4 ファイル検索・メンテナンス

(1) ILLレコードファイル、参加組織ファイル等の検索・修正・削除等の機能について記述する。

(2) ファイル検索結果の表示及び出力について記述する。

(3) 窓口コードテーブルの登録・修正・削除機能について記述する。

(4) ILL利用者のデータをメンテナンスする機能について記述する。

4.6.5 会計・帳票

(1) 予算及び債権等の管理・通知機能について記述する。

(2) 予算関連の帳票出力機能について記述する。

4.6.6 統計

(1) 各種調査に必要な統計処理ができる機能について記述する。

4.7 参考調査

・参考調査システムの概要について記述する。

4.7.1 レファレンス業務

(1) レファレンスの質問および回答情報を入力・編集する機能について記述する。

(2) レファレンスデータを蓄積し、検索できる機能について記述する。

5 情報サービスアプリケーション

5.1 蔵書検索サービス

- (1) 学内ネットワーク、インターネットを通して、館内外からの利用ができる機能について記述する。
- (2) WWW 版の場合は、対応するブラウザの最低バージョンを記述する。
- (3) 蔵書検索サービスの形態、構成等を記述する。
- (4) 検索対象ファイルについて記述する。
- (5) 学内外の横断検索機能について記述する。
- (6) 雑誌管理システムと連動して新着情報および製本情報を表示する機能について記述する。
- (7) 異なる書誌間での相互リンク機能について記述する。
- (8) 閲覧システムと連動して貸出情報、所在情報、予約情報を表示する機能について記述する。
- (9) 検索対象項目について記述する。
- (10) 絞り込み機能について記述する。
- (11) 検索履歴による検索機能について記述する。
- (12) 完全一致、前方一致、中間一致、後方一致による検索機能について記述する。
- (13) AND、OR、NOT の論理演算機能について記述する。
- (14) 検索結果のダウンロードや電子メールでの送信機能が必要な場合はその旨記述する。
- (15) 所在に関する利用案内を表示する機能について記述する。
- (16) インターネット上の資源へのリンク機能について記述する。
- (17) ヘルプ機能について記述する。
- (18) 日本語版、英語版を備える場合は、双方の切替え機能を記述する。
- (19) 利用のログを採取・分析し、統計出力する機能について記述する。
- (20) 多言語に対応する場合は、その旨記述する。
- (21) Z39.50 に対応する場合は、その旨記述する。

5.2 WWW による利用者サービス機能

5.2.1 包括的要件

- (1) 利用者が WWW 経由で提供されているサービスを受けられる機能を備えること。
- (2) 各種申し込みデータは該当する図書館業務アプリケーションに受け渡されること。
- (3) 利用者認証機能について記述する。
- (4) 蔵書検索結果を各種申し込み画面に取り込む機能について記述する。
- (5) 利用状況照会機能について記述する。
- (6) 図書館からのメッセージ表示機能について記述する。

5.2.2 図書購入依頼支援

- (1) 図書の購入請求機能について記述する。
- (2) オリジナル入力機能について記述する。
- (3) 未発注の図書について、依頼をキャンセルする機能について記述する。
- (4) 予算執行状況照会機能について記述する。

5.2.3 貸出・予約支援

- (1) 貸出中の資料に対する予約機能について記述する。
- (2) 予約取消機能について記述する。

5.2.4 ILL サービス支援

- (1) 文献複写および相互貸借の依頼機能について記述する。
- (2) オリジナル入力機能について記述する。
- (3) 申込取消機能について記述する。
- (4) 予算執行状況照会機能について記述する。

5.2.5 利用案内サービス支援

- (1) 新着図書案内機能について記述する。
- (2) 開館カレンダー表示機能について記述する。

5.3 WWW による業務支援機能

5.3.1 レファレンス支援

- (1) WWW 経由で参考調査を依頼し、回答を電子メールで受信できる機能について記述する。
- (2) この結果を蓄積し検索を可能とする機能について記述する。

6 ネットワークの接続と利用形態

- (1) 通信プロトコルについて記述する。
- (2) 学内ネットワークを介して各端末から図書館業務支援システム、情報サービスシステムに接続できる旨記述する。
- (3) 学内ネットワークを経由して、国立情報学研究所等の外部サーバに接続できる旨記述する。
- (4) ルータ、ハブ等のネットワーク機器およびネットワークインターフェイスについて記述する。
- (5) 接続に必要な物品(ケーブル類等)について記述する。

7 システム管理・運用

- (1) システムの連続稼働・安定性・安全性について記述する。
- (2) システム、データ及びネットワーク等のセキュリティについて記述する。特にコンピュータウイルス・不正アクセスへの対処について記述する。
- (4) システム全体のネットワーク管理、ジョブ管理、ソフト・ハードの管理について記述する。
- (5) ログの採取について記述する。

8 現有データ等の移行

- (1) 業務に支障をきたさず、現有データをすべて移行する旨記述する。
- (2) データ移行作業は、協議の上、運用開始日までに受注者が行う旨記述する。

(性能・機能以外の要件)

1 保守支援体制等

- (1) 定期保守について記述する。
- (2) 障害時の復旧について記述する。
- (3) 保守体制について記述する。

2 その他

- (1) 据付、配線、調整および撤去、ソフトのインストール等納入者が行う旨記述する。
- (2) 設置等については大学側と協議する旨記述する。
- (3) 業務担当者への適切な教育を納入者が行う旨記述する。
- (4) マニュアルを納入者が用意する旨その数量と併せて記述する。

III 資料

以下は一例であるので、各大学の事情により必要な資料を添付する。

- 1 ネットワークサービス概念図
- 2 次期システム端末構成
- 3 次期システムネットワーク構成図
- 4 現有システム全体構成図
- 5 現行システムアプリケーション概要
- 6 図書館組織機構
- 7 関連施設の平面図
- 8 電源設備、空調設備等の現況
- 9 文部省大学図書館実態調査票
- 10 日本図書館協会大学図書館調査票